9月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
畜産の担い手　平山　勝也

９月５日～

田んぼの斜面の草刈り



天気の合間を見て、畑や田んぼの斜面の草刈りを行いました。刈った草は繁殖雌牛に与える事で、受胎率向上になります。また、土手斜面には、「マムシ」などが多く居るので注意して作業行いました。

ほっぺが腫れてる子牛の治療



子牛に給餌している時に、ほっぺが腫れてる牛を発見しました。小さな傷口から細菌が入り炎症し膿がたまっていました。きれいな水でしっかりばい菌を洗い流し、抗生物質で治療しました。

９月１４日～

田んぼ内の雑草除去



食用米に雑草が混じって品質が落ちないように、あらかじめ田んぼでヒエなどの雑草を除去しました。稲を間違えて刈り落とさないようにと、神経使いました😨

晴れ間を見ながら、モアで草刈り



９月は本当に雨が多い月となり、夏場の重要作業である牧草サイレージ作りが全くできませんでした。その中でも牧草が伸びすぎたところや、刈り取りにくいところを、晴れ間をみて作業しました。

８月２５日～

放電してないか、電牧線チェック



ファーム赤土では放牧を行っているため、定期的に放牧線の確認を行います。案の定今月は何回か逃げられてしまうこともあり、草刈りや点検・確認を行いました。

雨が多い時こそ、機械のメンテナンスを



異常事態というほど雨の日が多く、焦りも増える日々でしたが、しっかり機械のメンテナンスを行い、スムーズに作業できるように備えました。

8月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
畜産の担い手　平山　勝也

９月１６日～

子牛せりに出荷しました



9月16日は子牛競市場ということで、日頃からひと手間かけながら大切に育てた子牛を出荷しました。思っていた値段には届きませんでしたが、健康でよく食べる牛でしたので、今後活躍してほしいと思います😊

雨の日が多く、床替えも多くなりました。



雨の日がとても多く、床替えを何回行ってもすぐに水浸しになりました。しかし、子牛は腹が冷えてしまったら下痢や食欲低下になりますので、こまめに対応しました。

感想や反省点等

今月の常陸太田市は、過去に類を見ないほど大雨や、雨の日が続きました。農業というものは適正時期というものが多く、とても天候に左右されやすいです。しかしその中でも、経営をスムーズに行っていくためには、何よりも準備が一番大切だと改めて思いました。また畜産などは小さなトラブルが毎日のつきものです。常に先を想定して作業できる体制を作っていきたいと考えています。

